

愛荘町の指定文化財⑤

銅造

安孫子神社蔵

千手観音鏡像

(町立歴史文化博物館寄託)



平成十一年十二月に町文化財に指定された銅造千手観音鏡像は、安孫子に鎮座する安孫子神社に所蔵される御正体と呼ばれる懸仏です。

御正体とは神の依り代とされる鏡のことで、本来神社では御神体として本殿奥に祀られるのですが、これとは別に平安時代頃から神仏習合によって、鏡に本地仏(神が仏の姿になって現れる姿)や種子(仏を表す梵字)を線刻した鏡が奉納されるようになっています。

町人が神社本殿の壁などに懸けたものです。県内でも飯道神社(甲賀市)や椋川日吉神社(高島市)などで大量に見されています。

写真の懸仏は、安孫子神社境内にある観音堂に懸けられていたもので、銅製円形鏡面に千手観音坐像を毛彫りで描いています。

表現する例は珍しく、貴重な作品とされます。

蓮弁には平安後期の懸仏に用いられる宝相華文が見られ、前述の作風とも合わせて、平安時代後期の作品であるとを物語っています。

後世になると本地仏を立体的に打ち出して、蓮台・花瓶・蓮などを鏡面に貼り付け、中には天蓋なども表現した賑やかなものも出現してきます。こうした懸仏を見ると、当時の民間信仰の熱心さを窺えます。

大友暢(歴史文化博物館)

町内高齢者の、新型コロナウイルスワクチン予防接種も順調に進み、7月末には、高齢者91%にあたる方の接種が終了される予定です。

今後は65歳未満の基礎疾患を有する方から順に、医院等での個別接種を中心に行われます。

さて、1年遅れの東京オリンピックも、今月23日から開会されます。オリンピックでの多くのアスリートの活躍とともに、オリンピックによりさらにコロナの変異株が蔓延しないよう、祈るばかりです。

今号は「町民から信頼される議会へ」のキャッチフレーズのもと、各種委員会の活動報告と、一般質問の内容を中心にお届けしました。ご愛読のうえご意見もお聞かせ下さい。

村西 作雄 記

【発行責任者】

議長 伊谷 正昭

【広報常任委員会】

委員長 森野 隆

副委員長 村西 作雄

委員 澤田 源宏

委員 村田 定

委員 河村 善一

委員 瀧 すみ江

編集後記